

名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅間）の存続を求める決議

名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅間）は、地域の目指すべき姿を実現する公共交通のあり方を考えるうえで、多面的な未来への相乗効果を生み出す価値あるものである事を再認識しなければならない。そのため、当該路線の存続に係る事業活動は、「地域の将来像を見据えたまちづくりへの投資」と捉えることができる、極めて重要な事業活動である。

本町議会は、去る３月１９日に住民団体からの存続を求める請願を賛成多数により採択したところであるが、今後、本町が当地域の関係市町等団体との協議を進めるにあたり、「みなし上下分離方式」での運行を持続可能性ある現実的な選択手法として当該路線の存続を目指す。

以上、決議する。

令和７年５月２２日

岐阜県御嵩町議会